

2024 年度内部監査計画

一般財団法人全日本ろうあ連盟
デフリンピック運営委員会

1. 2023 年度内部監査の状況

一般財団法人全日本ろうあ連盟（以下「連盟」という。）デフリンピック運営委員会（以下「運営委員会」という。）では、スポーツ庁が策定した「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方に関する指針（以下「国の指針」という。）」と、東京都が策定した「国際スポーツ大会への東京都の関与のガイドライン（以下「東京都のガイドライン」という。）」等を踏まえて、国の指針に示されているガバナンスセルフチェックリストに基づき、適切な運用や財務・経理処理及び公正な会計原則の遵守ができていないか確認するとともに、内部監査の設置、連盟の監事監査及び外部監査を活用した三様監査体制を構築した。

2. 監査内容

(1) ガバナンスセルフチェックリストへの対応状況確認

2024 年度も引き続き、運営委員会内のガバナンス体制を構築していく。国の指針に示されているガバナンスセルフチェックリストに基づき、適切な運用ができていないかどうか確認する。

(2) 業務監査

2024 年度は、行政からの派遣職員が増えたこともあり、契約事務、会計事務、文書事務、サービス管理、情報管理、備品管理等について適正性、経済性、透明性、説明責任の担保等の観点から、業務監査を実施する。

(3) リスクアプローチの観点を踏まえたヒアリング

運営委員会内における不正の未然防止、早期発見のために、運営委員会事務局内の最高執行責任者である運営委員会事務局長に、運営委員会事務局内において生じる可能性があるリスク及びその未然防止策等についてヒアリングを行う。

3. 監査三者連携について

2024 年度は、内部監査、連盟の監事監査及び外部監査とともに、三者で意見交換を 2 回実施し連携を図る。1 回目は 4 月に実施し、2023 年度の内部監査の内容を共有するとともに、外部監査の結果・課題等を確認し、意見交換を行う。2 回目は 11 月に実施し、2024 年度内部監査計画を確認するとともに、内部監査について意見交換を行う。